

かやっ子



与謝野町立加悦小学校 研究推進委員会
令和4年6月8日号
課題に向かい 仲間と学び合うことを通して
自らの学びに生かす児童の育成



学級で、互いの話をしっかり聞くことはずいぶんできているようです。今回の授業のように、聞いて伝えて終わりではなく、それを次の学習につなぐ、ということを大事にしたいです。また、自分の学びの跡が残るようなノート指導もし、表現力も高めていきたいです。

「6年2組で国語科の研究授業を行いました。」

先週、今年度1回目の研究授業を行いました。今回は、これまでの研究の成果も生かしながら主体性を高める授業づくりについて検討しました。

「時計の時間と心の時間」という説明文を読み、筆者の主張に対して自分はどうか考えるのか、その考えをより説得力をもって伝えるためにはどうすればよいか、という学習をしています。筆者は、自分の考えを伝えるために、いくつかの工夫をしています。子どもたちは、教材文を読み込み、「構成」「事例の内容や順序」などについての工夫があるから、読者にとって分かりやすく納得のいくものになっている、ということを知りました。その工夫を、自分の考えを伝えるときに生かします。

どんな学習もそうですが、その単元、その授業で終わりではなく、次の学習、そして他教科、生活にもつながっていきます。「あの学習がこんなところで役に立った。」というような、学びが生きる授業づくりを目指していきたいです。



前時の振り返りをし、今日する内容について確認します。

悩んでいることや聞いてみたいことをもとに、グループ交流です。「具体的でいいね。」「もっと事例を増やしてみたら?」「文章のどこに共感したのか書いてみたら?」など、やりとりしたことをメモしていきます。

友達の悩みに対し、熱心に考え中。アドバイスを聞いて、付け足したり修正したりするところを考えるとできました。

友達に聞いたことや、友達の考えを聞いて気付いたことを早速メモしています。忘れないうちに、立ったまま書く児童も…。

最後に、「交流することで自分の考えがどう変化したのか。」「今日の学習を次時にどう生かしたいのか。」について振り返りました。



先生たちも今日の授業をふり返りました。「算数なら…」「低学年なら…」と、自分の学級・学年のことを思いながら明日からの授業づくりについて考える時間となりました。

R4 1学期学習アンケート



